 なみえ

議会だより

2005・6・7

108号



●	上	佐	渡	泉	小	佐	鈴	紺	田	佐	三	佐	●	下	横	馬	吉	山	山	勝	佐	渡	橋
(左	段	藤	邊	田	黒	藤	木	野	尻	々	瓶	々	(左	段	山	場	田	本	本	山	々	部	爪
から)		一	文	重	敬	文	辰	榮	良	茂	宝	患	(左	精	績	数	孝	幸	一	美	英	貞	光
		男	星	章	三	子	行	重	作		次	寿	から)	一		博	一	男	美	夫	信	雄	

新議員…

町民の声にどうこたえる

3月定例会

- ◆ 平成17年度予算審議決定 2～ 5
- ◆ 議会構成決まる 10
- ◆ 一般質問 12～ 20

3月定例議会

平成 17 年第 1 回浪江町議会定例会が 3 月 8 日から 3 月 22 日までの 15 日間の会期で開催され、一般質問には 9 人が登壇するなど活発な質疑が交わされました。

今議会に提案された議案は、17 年度一般会計予算 70 億 8 千万円、国民健康保険事業など特別会計予算 11 件、併せて 131 億円余の予算が決まりました。

請願・陳情では、請願書 1 件（採択）、陳情書 6 件（採択）が審議され、意見書 5 件を関係機関に提出しました。

厳しい財政状況の中

「安心」「安全」「安定」
快適なまちづくりに

どう活かす 131 億

対前年比で 6% の減

一般会計は 9.2% 減
特別会計は 1.9% 減

一般会計 主な質疑

町民参加による
住み良いまちづくり

質問

地域づくり支援事業の要望書は行政区から提出されているのか。また、事業の査定、提出期限をさだめるのか、事業量によっては増額の余地があるのか。

総務課長

現段階ではありません。総会、理事会の関係で 5 月末から 6 月上旬になると思います。

町長

今年度からは町で査定いたします。地域にとって有効かつ必要というものは補正も考えます。

質問

非常備消防組織体制の地域間の平等化と簡素化を計れ。

住民生活課長

この問題は広域でも話題となっており、今の組織はだいたい前に出来たもので、今後消防団幹部の方と、どのような組

織が良いのか協議をしながら進めてまいります。

質問

役場職員の勤務時間中の喫煙と公共施設内の禁煙についての投書がありました。どう検討しますか。

総務課長

規律については、いろんな職員研修の場で注意をしておりますが、あらためて是正指導をしてまいります。公共施設内では喫煙が出来ないよう対応策を講じます。

均衡ある町財政の
運営を

質問

国は 17 年度の地方交付税について、基本的には前年度並みといっている。町の当初予算では、地方交付税の身替り財源である臨時財政対策債が前年度比で 6120 万円減っている。予算の見込み違いがあるのではないか。

総務課長

地方財政計画に則って予算を組んでおり、交付税については、年度末になってみないと正確にはわかりません。

質問

今年度は財政調整基金から 2 億 9000 万円を繰り入れて、基金残高はいくらになるのか。

総務課長

基金残高は 4 億 3266 万円となり、標準財政規模からいうと約 5 億円の基金を持たなければなりません。16 年度の剰余金を積立るとその額になると考えております。

質問

町の財政調整基金残高は 16 年度の剰余金 1 億 3000 万円を積立し、8 億 5200 万円となりました。

産業振興課長

16 年度はマリンパークの利益金から町に 500 万円繰入れされている。町が予算計上している、マリンパークなみえ管理委託料 4000 万円の減額を検討すべきではないか。委託料の還付が可能かどうか、17 年度から対処してまいります。

どうする、
高齢者・障害者への
予算措置

質問

オンフル双葉増築補助金2億1091万円、前年度分と合わせると4億2182万円。当初は国県補助と同額の補助を町が出すという契約でした。ところが国県の補助金が3億6351万円に減額。町は国県補助金の差額5800万円は予算計上する必要がなかったのではないかと。

町長

2カ年の建設補助であり、当初の計画通り4億2000万円は妥当であるとの結論になりました。

質問

障害者施設であるアクセスホームさくらの作業所での事業を把握しているのか。また予算増額の検討は。

健康福祉課長

今年30万円を増額し運営補助金は630万です。知的障害者約12名が入所しており、地元企業からの委託を受け事業を推進しております。

質問

敬老祝いの金の廃止の考えは。

健康福祉課長

県も縮小、廃止との情報もあります。町の保健福祉等策定委員会の意見を尊重しながら検討してまいります。

放課後児童クラブ
6年生まで引き上げ

質問

放課後児童健全育成事業3082万円、小学校高学年まで広げた狙いはどこにあるのか。

健康福祉課長

保護者からの要望及びアンケート調査結果をふまえ、経費の増えない点とスペースもなんとか取れるということ。6年生まで拡大しました。

質問

津島保育所の修繕費11万1000円はこれで我慢をしてということか、それとも建て替えを早急に検討するために少ないのか。

統括保育所長

備品の修繕で建物ではございません。建物の老朽化については、既存施設が使えないかも含め、公共施設整備計画に載せます。年度については県と協議してまいります。

特別会計 主な質疑

平成17年度特別会計予算は、国民健康保険事業など60億4300万円、対前年比1・9%減で決定

国保事業特別会計
予算

予算総額は19億8429万円。対前年比0・1%の増である。歳入の主なものは、国保税7億6344万円、国庫支出金7億65万円、療養給付交付金1億4667万円、一般会計繰入金1億9789万円である。

歳出については保険給付費12億4814万円、老人保健拠出金4億4299万円、介護納付金1億5206万円、共同事業拠出金4876万円である。(賛成多数で可決)

7つする資格証明書発行

質問

資格証明書発行についての考えは。

健康福祉課長

滞納者対策として今後も諸事情を聞きながら、発行せざる得ない場合は発行していく考えです。また、その中で、滞納を少しでも減らしたいという分納等の約束がされれば、短期保険証に切り替えていく考えです。

質問

経済的理由により医者にかかれぬ世帯に対して資格証明書発行の検討は。

健康福祉課長

手術等、生命に影響があるような場合は保険証を発行しているが、通常治療のための保険証切り替えは負担の公平上やむを得ない。

質問

継続治療、妊婦、子供世帯に対する資格証明書発行についての具体的な対応は。

健康福祉課長

基本的に諸事情を伺い対応せざるを得ない。納税相談にみえないで、諸事情のなかで資格証明書を保険証に切り替えるのは難しいと考えます。

滞納対策は

質問

15年度決算では21・6%が滞納割合であり世帯換算で927世帯、5戸に1戸の滞納者がある現実です。この問題に対し真剣に取り組まなければならぬが、収納対策をどのように考えているのか。

税務課長

平成16年6月1日現在で938世帯の滞納があり、収納対策が大変必要であります。17年度については収納嘱託員制度を立ち上げて電話相談、個々の集金業務に当たらせ、さらに管理職員の夜間徴収もふくめて滞納者対策を実施する。

介護保険事業特別会計予算

予算総額は10億6500万円
 円で対前年比10・9%の増
 である。歳入の主なもの
 は、保険料1億4759万円、
 国庫支出金2億6159万円、
 支払基金交付金3億1392
 万円である。歳出は保険給付
 費9億8100万円、総務費
 8020万円である。

(賛成多数で可決)

家事援助事業は

質問

介護保険法の改正で予防介
 護が重視されると要支援、介
 護1の認定者の家事援助の打
 ち切りが心配されるが、予防
 介護にシフトされた場合町の
 要支援、介護1の方の家事支
 援はどうなるのか。

健康福祉課長

予防事業によりメニューは
 3つになります。改正案では
 ともに家事援助を続ける方向
 が示されています。

質問

家事援助の打ち切りの問題、
 要支援の認定、介護1の認定者

の中で家事援助を利用してい
 る人は現在いくらいるのか。
 その人たちに対する援助は。

健康福祉課長

数字的に把握しておりま
 せん。

低所得者対策は

質問

低所得者対策事業の内容は。

健康福祉課長

社会福祉法人による介護保
 険サービスの利用者が福祉年
 金受給者等である場合は原則
 1/2が自己負担となります。

質問

介護保険制度開始以前から
 訪問介護を利用されている人
 は今後どうなるのか。

健康福祉課長

障害者のホームヘルプサー
 ビスは、平成12年から17年3
 月まで、段階的に3%に軽減
 されており、今後も継続され
 ます。

**介護サービス適正
事業の指導と対応は**

質問

介護保険事業県負担金の介
 護サービス適正実施指導事業
 費の内容は。

健康福祉課長

保険者である町が実施指導
 を行うために、県から事業費
 に対して3/4補助を受ける
 ものです。

質問

訪問介護士・事業者に対す
 る指導は。

健康福祉課長

県と協議しながら保険者と
 して実施指導にあたります。
 施設のサービスの指導につ
 いては基本的に県にあります
 が、制度改正の中で市町村に権
 限がくるよう、第3期介護事
 業計画策定の際、検討します。

水道事業会計予算

本年度は給水戸数で633
 0戸、年間給水量218万1
 500立方メートルと定め、
 主な事業は第4次拡張事業お

よび配水設備の拡張と改良事
 業の推進を図る。

収益的収支では、収入の部
 で3億6692万円、支出の
 部で3億3878万円とし、
 資本的収支では、収入の部で
 1億4410万円、支出の部
 で2億9558万円の予算と
 しました。(賛成多数で可決)

**企業債積立金
運用の考えは**

質問

企業債利息6200万円を
 支払い、新たに5000万円
 の企業債を借りる計画になっ
 ているが、現金預金7億円の
 中で運用は出来ないのか。

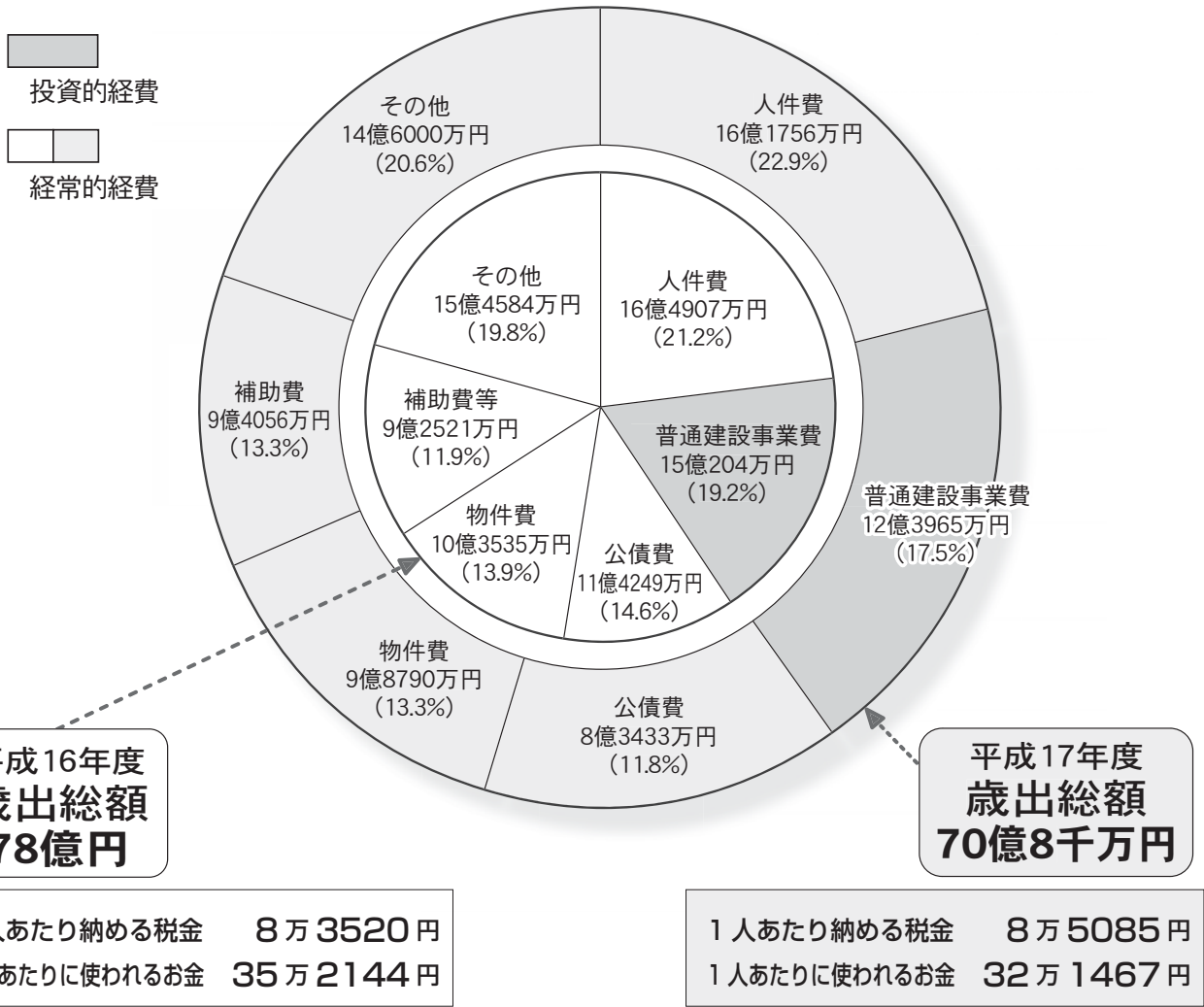
上下水道課長

① 拡張のための資金について
 は企業債を借りることに
 なっております。
 ② 現在、企業債の残高が16億
 円。返済のため1/20以上
 積み立てる規定がありそれ
 に基づいて対応しています。

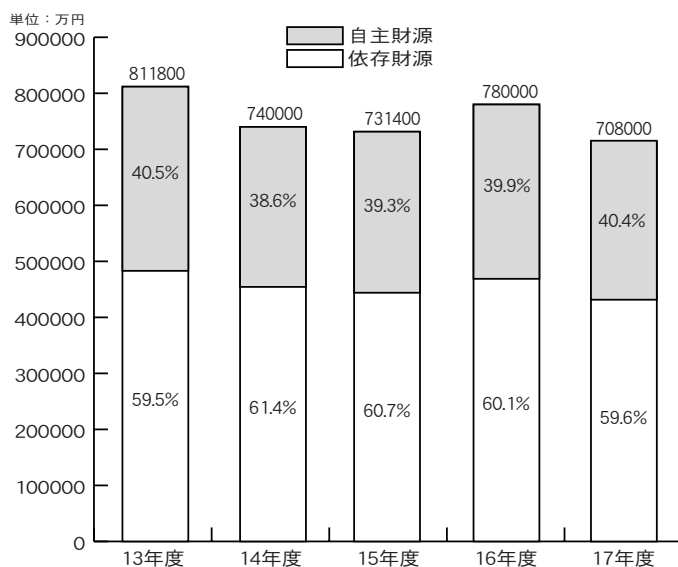
**17年度
特別会計
可決予算**

- 津島診療所事業特別会
計予算
(全会一致で可決)
- 公共下水道事業特別会
計予算
(賛成多数で可決)
- 奨学資金貸付事業予算
(全会一致で可決)
- 文化及びスポーツ振興
育成事業予算
(全会一致で可決)
- 老人保健予算
(賛成多数で可決)
- 工業団地造成事業予算
(全会一致で可決)
- 宅地造成事業予算
(全会一致で可決)
- 農業集落排水事業予算
(全会一致で可決)
- 財産区管理事業予算
(全会一致で可決)

一般会計性質別構成（前年対比）



一般会計当初予算と自主・依存財源の推移



主な自主財源

- 町税
- 分担金及び負担金
- 使用料及び手数料
- 財産収入
- 繰入金
- 諸収入

国県依存財源

- 地方譲与税金
- 地方消費税交付金
- 地方交付税金
- 国庫支出金
- 県支
- 町

提出された主な議案

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

津島辺地に係る公共的施設の総合整備計画が17年3月をもって期間満了となり、新たに5カ年計画を策定するものです。(全会一致で可決)

携帯通信基地の設置は

質問

移动通信用鉄塔施設に8100万円計上されているが、この事業によってどの程度改善されるのか。

企画調整課長

現在、県、事業者（NTTドコモ・au）に対して要請をしており、いま赤宇木地区、塩浸を中心とする地区、概ね300人と思われ、国道114号線利用者に便利になると思っています。

質問

シミュレーションはしたのか。

企画調整課長

設置計画が決まれば、シミュレーションをして、最大効果の出る場所を選定する仕組みになっております。

質問

17年度設置の見通しは。

企画調整課長

各町村から同じような地区の要望が出ておりますが、最大限の努力をして採択されるようにしていきたいと思っております。(全会一致で可決)

浪江町道路線の認定及び廃止について

町道南町三斗蒔線、宮田豊田線、みどりが丘5号線、谷津田7号線、持平4号線の5路線について認定誤謬、修正及び用途廃止、並びに道路改良により認定・廃止について可決しました。(全会一致で可決)

固定資産税の取り扱い

質問

私有地を町道として認定されていたものを、今回訂正の提案されているのが2路線あります。なぜ私有地が町道に認定されていたのか、固定資産の課税はどうなっていたのか。

建設課長

持平4号線は、大字の共有地を払下げ、個人のものになっていたのでそのまま認定しておりました。みどりが丘5号線は町道認定の時に私有地まで線を引いてしまったので、誤謬訂正するものです。課税については持平線は保安林ですから非課税となっております。みどりが丘線は個人の所有ですので課税になっていくものと理解しております。

条例の制定

基本計画が 報告事項から 議決事項に

町政執行に係る最上位の計画である基本計画を議会の議決事項とするため条例制定するものです。(全会一致で可決)

○浪江町つしま活性化センターの設置及び管理に関する条例の制定

中山間地域総合整備事業による活性化施設として譲与される、浪江町活性化センターの完成に伴い制定するものです。(賛成多数で可決)

○浪江町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の制定

浪江町が設置する公の施設の管理を行わせる指定管理者の指定手続等に関し、必要な事項を定めるため制定するものです。(全会一致で可決)

結婚仲介者に報奨金支給

○浪江町結婚仲介報奨金支給条例の制定(賛成多数で可決)

結婚推進のため結婚仲介者に報奨金を支給し、町内に定住する後継者の結婚推進を図り、町の活性化に資するため制定するものです。(賛成多数で可決)



改正の条例

○電動複写機使用料徴収条例の一部改正
(全会一致で可決)

《農業委員定数
4人減で15人》

○浪江町農業委員会の選挙による定員の定数に関する条例の一部改正
(賛成多数で可決)

○浪江町農業委員会の選挙区に関する条例の一部改正
(全会一致で可決)

○浪江町農業委員会の選任による委員の定数に関する条例の一部改正
(賛成多数で可決)

その他の条例改正

○浪江町営住宅条例の一部改正
(全会一致で可決)

○浪江町公民館条例の一部改正
(全会一致で可決)

○浪江町議会委員会条例の一部改正
(全会一致で可決)

専決処分

○福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少について
合併に伴い滝根町外6町村が総合事務組合から抜け減少することについて全会一致で承認されました。

○浪江町税条例の一部改正
(全会一致で承認)

人事

助役の選任

浪江町助役について、原案どおり全会一致で同意されました。



氏名 松永 勝
生年月日 昭和22年10月11日

採択

皆さんから
出された
請願・陳情

採択された請願

○農用水路の付け替えに関する請願書
[請願者]
大字加倉区長 佐々木一夫 外3

採択された陳情

○福島県教育委員会に、栄養教諭制度の導入を求める陳情書
[陳情者]
学校栄養士協議会福島県支部長 泉 政子

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求めた意見書提出の陳情書
[陳情者]
福島県連合会双葉地区連合会議長 佐藤 臣克

○社会保障制度の抜本改革を求める意見書提出の陳情書
[陳情者]
福島県連合会双葉地区連合会議長 佐藤 臣克

○定率減税の縮小・廃止を再考することを求める意見書提出の陳情書
[陳情者]
福島県連合会双葉地区連合会議長 佐藤 臣克

○有期契約労働者の適切な労働条件の整備を求める意見書提出の陳情書
[陳情者]
福島県連合会双葉地区連合会議長 佐藤 臣克

○栄養教諭制度の導入を求める意見書
[提出先]
福島県教育委員会教育長

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書
[提出先]
福島労働局長 福島地方最低賃金審議会会長

○社会保障制度の抜本改革を求める意見書
[提出先]
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣

○定率減税の縮小・廃止を再考することを求める意見書
[提出先]
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣

○有期契約労働者の適切な労働条件の整備を求める意見書
[提出先]
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣

議員発議の意見書



平成16年度補正予算

一般会計補正予算

(全会一致で可決)

町史編さん発刊は

質問 町史編さん、民俗編の発刊が出来なくなった経過は。

教育長 内容が非常に膨大なため今年度の事務事業では着手出来ないという結論に至りました。

質問 町史編纂職員増の体制と、17年度においての具体的な計画は。

教育長 専任職員の復活と臨時1名を考えている。民俗編の編集、発刊が第一目標で、4月当初から歴史編の資料収集にも入ります。

老人保健特別会計補正予算

(全会一致で可決)

減額補正の事情は

質問 1億5千万円の減額補正となっているが入院事情にどのような変化があったのか。

健康福祉課長 被保険者数が減ったことに伴って医療費が減ったことが大きな理由です。入院給付費で対前年比95・3%、対前年比1月分比較で、入院費95・7%、通院で94・0%、被保険者数で137名の減です。

水道事業会計補正予算

収益的収入の営業収益で給水収益及び加入金の増などにより、420万円の増、営業費用では、原水及び浄水費の減、及び資産消耗費の増等で160万円の増である。

(全会一致で可決)

未収金対策と給水収入の増額は

質問 未収金で2115万円計上されているが、この中の不良債権はどのようになっているのか。

上下水道課長 不良債権は1215万円ほどあります。行方不明と転出で110件、死亡が2件の112件です。

質問 未収金の徴収対策は。

上下水道課長 収納委託者が毎日訪問して対応、転出者については督促をしており、不明者については対応できない状況です。

質問 給水収益318万円増額の理由は。

上下水道課長 双葉町の水源地の水質悪化に伴って、双葉町への給水量が増えたためです。

国民健康保険事業特別会計

(全会一致で可決)

介護保険事業特別会計

(全会一致で可決)

国民健康保険直営診療施設事業特別会計

(賛成多数で可決)

宅地造成事業特別会計

(全会一致で可決)

公共下水道事業特別会計

(全会一致で可決)

◇◇ 請願(陳情)の書き方 ◇◇

請願書・陳情書は、請願(陳情)する内容と請願(陳情)する方の住所、氏名を書き、押印して、紹介議員(陳情の場合は不要)1人以上の署名または記名押印を受け、請願(陳情)の要旨、理由を記載したものを議長宛に提出して下さい。

<p>(内容)</p> <p>件名.....について 要旨..... 理由.....</p> <p>平成 年 月 日 浪江町議会議長 様</p> <p>《個人及び団体の場合》 請願者 住所 (陳情者) 氏名 印 (複数の場合は、代表者名を別に定めて下さい。)</p> <p>《法人の場合》 請願者 住所 (陳情者) 氏名 印 (複数の場合は、代表者名を別に定めて下さい。)</p>	<p>(表紙)</p> <p>〇〇〇〇に関する 請願(陳情)書</p> <p>紹介議員 氏名 印 [※陳情の場合は 紹介議員不要]</p> <p>請願(陳情)書様式</p>
--	--



インターネットコーナー

請願者登場

農業用水路の移設に関する
請願者

代表 佐々木 一夫

● 加倉江筋付け
替えの理由は

室原字八竜内地内の国道1
14号線を横断する用水路の
暗渠は、土砂がたまりやすく、
長さが約10メートルもあり、
加倉地区民による年2回の江
払いが大変であり、加倉消防
団の協力を得ながら行ってお
ります。
国道114号線の改良工事
で八竜内付近が直線道路と
なっており、毎年同じことを
繰り返しております。



産建委員会現地調査

● どのような改良を
望みますか

常磐高速道路の浪江インターま
でのアクセス道路工事に合わせ
て、この際、是非とも用水路（加
倉江筋）を114号線の南側に移
設していただきたいと思います。
1日でも早い実現を、地区民一
同心待ちにいたしております。

議員表彰

永年（15年以上在職）町村議会議員として、地方自治の振興発展に寄与された功績により、山本孝一議員・藤本忠男議員が全国町村議会議長会長から表彰され、3月9日開かれた第1回定例会冒頭に議長から伝達されました。

* 自治功勞表彰 *



山本 孝一 議員



藤本 忠男 議員



あなたも議会を 傍聴してみませんか!!

町政を知るよい機会です。
6月の定例会は6月13日より開催されます。

詳しくは議会事務局へ ☎ 34 - 0254

初議会 議会構成きまる

議長に山本幸男氏、副議長に勝山一美氏

町議会議員改選後、初めての議会が5月10日に開催されました。正副議長の選挙をはじめ、3常任委員会委員・議会運営委員会委員および特別委員会委員の構成が決まりました。



議長あいさつ

山本幸男

新緑の季節となりました。皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、改選後の初議会において、不肖私、議員各位のご推挙により浪江町議会議長の要職に就任いたしました。行政課題が山積する時期にあたり、その責任の重大さを痛感しているところであります。

議会運営については不偏不党、公正無私を旨とし、意思決定機関である議会としての機能を十二分に発揮し、町民の皆様へ代つて厳しくチェックしながら言論の府として町議会が円滑に運営されるよう誠心誠意努力する所存であります。

今後多様化する住民ニーズにこたえるよう執行機関と一体になって本町の発展と住民福祉の向上を目指し、職責を全うする覚悟でありますので、町民皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



副議長あいさつ

勝山一美

議員の皆様と共に議長を補佐し議会運営を円滑に進めてまいりたいと思っております。

がバブル崩壊と共に去り、全ての面で厳しい時代に入っております。特に本地域に於いてはここ3、4年その厳しさを膚で感じ取ることができな様になりました。先の見えないこの時代に皆様から付託を受けました私共議員の責は以前より数段重いものと認識しております。

私共は皆様の立場に立ち大いに議論をし、智慧を出し合い議会の活性化を、しいては行政の活性化を図りたいと思っております。

最後になりましたが、町民の皆様におかれましては、議会は皆様のものと深くご認識いただき、今まで以上に議会に対しご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会

会期、議事日程など議会運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項等を審議します。

- 委員長 渡部 貞信
- 副委員長 田尻 良作
- 委員 紺野 榮重
- 委員 橋爪 光雄
- 委員 佐々木 恵寿
- 委員 山本 孝一

総務常任委員会

- 委員長 紺野 榮重
- 副委員長 渡部 貞信
- 委員 山本 幸男
- 委員 鈴木 辰行
- 委員 佐藤 文子
- 委員 佐々木 英夫

事務調査事項

総務課、企画調整課、税務課、住民生活課出納室、他の委員会に属さない事務の調査を行います。



産業建設常任委員会

委員長 山本 孝一
副委員長 佐々木 恵寿
委員 佐藤 一男

横山 精一
渡邊 文星
佐々木 茂
吉田 数博

事務調査事項

産業振興課、建設課、上下水道課及び農業委員会に関する事務の調査を行います。



文教厚生常任委員会

委員長 橋爪 光雄
副委員長 馬場 績
委員 泉田 重章

勝山 一美
田尻 良作
小黒 敬三
三瓶 宝次

事務調査事項

教育委員会、健康福祉課に関する事務の調査を行います。



議会報編集特別委員会

年4回の議会だよりを発行します。

委員長 佐々木 恵寿
副委員長 佐藤 一男
委員 横山 精一

田尻 良作
小黒 敬三
佐藤 文子

地域共生型電源開発特別委員会

委員長 三瓶 宝次
副委員長 佐々木 茂
委員 横山 精一

渡邊 文星
渡部 貞信
泉田 重章
紺野 榮重
小黒 敬三

国道114号拡幅促進特別委員会

委員長 佐々木 英夫
副委員長 田尻 良作
委員 佐藤 一男

鈴木 辰行
佐藤 文子
山本 孝一
橋爪 光雄
佐々木 恵寿
吉田 数博
馬場 績

双葉地方広域市町村圏組合
議会議員（4名選出）

山本 幸男
鈴木 辰行
三瓶 宝次
佐々木 英夫

〔双葉広域圏8町村で組織し、ごみ・し尿・消防・火葬場などに関する事務を調査します〕

監査委員（同意）

三瓶 宝次

〔町の経営に係わる事業の管理及び行政全般について監査します。〕

農業委員（2名推薦）

紺野 榮重
佐々木 恵寿

〔町農地を守り農業振興を進める機関です。〕

子供を生み育てやすい 環境づくりを!!

橋爪 光雄みつお 議員



少子化対策を図れ

質問

日本の子育て支援は諸外国に比べて貧困。2007年から日本の人口は減少を始め、100年後には今の人口の半分になると言われており、このままでは社会の活力が維持できなくなる。社会保障制度を持続できる制度にするためにも少子化対策は極めて重要です。出産費用の負担軽減について政府は、現実にかかる費用を十分考慮して適

切に対処すると述べています。町は出産一時金の引き上げ計画はあるのか。

健康福祉課長

国民健康保険条例第6条第1項の規定により、金額を30万円と規定しています。給付額の見直しについては、子育て支援面を視野に入れて、他市町村の動向を見て検討します。

質問

小児科医師が確保されないため県立大野病院の小児科は閉鎖されている。双葉郡8カ町村の首長は、国、県に対してどのような働きかけをしているのか。

町長

医師会等にも働きかけをしています。町村会としても何回にもわたって要望活動を行っています。今後とも粘り強く要請活動を続けてまいります。

質問

現行の就学前まで医療費無料化を小学校6年生まで医療費無料化にできないのか。

健康福祉課長

現在、浪江町を含め県内の殆どの市町村は、就学前まで無料化を実施しています。今後、拡充については、国県や他町村の動向を見守る必要があります。

質問

児童生徒の 安全対策を図れ

2月14日、大阪寝屋川市の市立中央小学校で、教職員3人が殺傷される事件が発生した。町の各小学校に防犯マニュアルは策定されているのか、不審者侵入を想定した児童生徒と教職員の訓練を実施しているのか。

教育長

既に各学校、各幼稚園の安全管理マニュアルは作成済みです。今回の事件を受けまして、再点検をしました。各小学校、中学校、幼稚園で不審者対応の訓練を行っております。

質問

通学路の整備、防犯、安全点検計画はあるのか。

建設課長

通学路の整備については、安全通行を重点にして側溝整備、蓋掛けなどを進めています。防犯灯設置については、要望箇所の現地を調査し、明るさの度合いなど検討して、優先順位を決めて設置してまいります。



良い環境でのびのび育つ園児たち（コスモス保育園）

上水道整備の残された地区の整備計画は

鈴木 辰行たつゆき 議員

時窓口で説明しております。

元双葉精器の活用、企業誘致の取り組みは

名がされているのか。また下請け業者への丸投げと思われる業者の選定、応札者の下請けについてのどのような基準を設けているのか。

総務課長

質問

新たな企業誘致の取り組み、元双葉精器を活用した企業誘致は。

町長

すべて考えられる手段を行って、企業誘致を図っております。今後は首都圏在住の浪江町出身の方々にもお願いしなければならぬと考えております。双葉精器の事では、

建設課長

下請けさせるときは、受注者が下請け通知書を提出することになります。この通知がない限り、元請け業者が施工していると認識しております。応札者については建築基準法、県の元請け・下請け適正化指導要綱の中にも定義はありません。しかし、競争入札の参加者同士で下請けすることは好ましい事ではないと思います。



新長期計画に整備計画を示せ

質問

現在、田尻・末の森地区の上水道整備が進められているが、未だに整備の残された地区が多く点在しております。この地区をどのように整備計

上下水道課長

画されるのか。また整備計画を長期計画に示されるのか。田尻・末の森地区は17年度で概ね完成する見込みです。18年度から加倉馬場内・藤橋地区、以後、中長期的に、室原馬場内・堀知木の一部・八童内・藤橋の善明作・観音前など順次計画の予定です。

町長

水道が引かれていないことは、非常に重要な事と認識しております。未整備地区のおおよその方向付けは新長期計画に盛り込めると考えております。

質問

上下水道に関して次の点についてお答え願います。

- ①明らかに施工業者のミスで、漏水が発生したときの水道料・工事費の負担を町で施工業者に対し、責任追及すべきではないのか。
- ②下水道工事の工事前説明は十分にされているのか。

上下水道課長

①配水管から分岐した給水装置は、利用者の資産になります。給水装置の工事は町指定業者でなければできませんが、お互いの信頼で施工されるものであり、解決されるものと考えています。水道料の減免は、減免要綱規定により対処します。

②受益者負担金と工事の説明会は、毎年2回開催しております。出席できない方及び納得できない方については随

町内業者を優先した指名入札を

質問

町内業者を優先した業者指

介護老人保健施設建設を望む!!

紺野

榮重えいしげ議員



質問

浪江町には福祉施設でないのは介護老人保健施設でありませぬ。建設推進のための経過を伺います。

健康福祉課長

17年度に県の整備活動見直しの予定ですので要望活動しておるところです。

質問

入所希望のアンケート結果を伺います。

健康福祉課長

老人保健施設希望者87人、老人福祉施設希望者144人、グループホーム希望者17人でオンフルール100床で



筋力トレーニングによる健康づくり

は足りないと考えております。

質問

近隣町村との意思の疎通は計られているのか伺います。

健康福祉課長

郡内町村長会議で町長が説明を請うしております。

質問

健康老人のための方策を伺います。

健康福祉課長

本年度からは機械器具を整備して筋力トレーニング教室を実施してまいりました。平成17年度も引き続き実施してまいります。

平成17年度以降の重点政策について!!

質問

地域性を重視した政策をつくる考えはあるのか。

町長

基本的には町全体として捉えて実行してまいります。津島地区には中山間地域としての特殊事情を考慮した政策が必要と考える。

質問

重点政策を平成17年度予算にどのように反映されているのか。

町長

地域性というものを考慮しながら緊急性、重要性、将来性を勘案しながら予算編成を行ったところです。

質問

幾世橋地区で請願した来福寺3路線の拡幅側溝整備について伺います。

建設課長

斉藤屋敷・来福寺線を優先し、区長と協議しながら箇所付けを検討してまいります。

質問

原子力発電所の進入道の今後の推進計画について伺います。

建設課長

現在百軒沢地区まで改良され、国道6号まで700メートル区間が未着工です。今後権利者及び藤橋部落との調整を図りながら整備促進してまいります。

教育現場における17年度の 取り組みについて

佐藤 文子ふみこ 議員



教育長

町内のすべての小中学校で4月から混合名簿を採用し、これは相双管内で浪江町が最初になります。

質問

公立校の性教育の実態と教職員に対する研修等の取り組みは。また、ケイタイ電話を端末にした有害ネットの現状を、どう思うか。

教育長

保護者が考えている以上に極めて深刻な状態で、深く憂慮される問題です。そこで17年度は浪江町独自で町内の小中学校教育研究会と言う組織を開所して命と性の教育部会を設置します。7月ごろに専門家を招き、教職員、PTA、町民を対象にした講演会を開催する

混合名簿を採用した入学式



つもりです。

質問

放課後児童クラブの高学年まで引き上げと施設（幾世橋小）の改善は。

健康福祉課長

6年生までの引き上げは17年度、3000万円ほどの予算を取り6つの小学校で実施します。

幾世橋小の施設の問題は、なかなか適当な施設が見つからないのが現状です。引き続き探していくつもりです。

質問

男女共同参画社会実現条例作りの進捗状況は。

町長

職員の啓発と、研修会等を重ねており、今後条例づくりを進めてまいります。人材登用のことも各種審議会、委員会すべてにおいて、22%の割合になっていきます。今後も意

識して能力のある女性の登用に努めていきたいと思えます。

児童生徒の 安全対策は

質問

校舎内の不審者に対する安全対策は。

教育長

町内校長会招集して、寝屋川の事件を契機に各学校の安全マニュアルをもう一度見直し、教職員が臨機応変にいかに対応できるか、警察署の協力などを十分に得ながら対応を詳しく検討していきたいと考えています。

質問

登下校時の安全対策と、地域のボランティア等の組織づくりは。

教育長

PTAの会合等において学校から問題提起をし、今協議を進めているところです。また、町民の中からも児童の下校時を見守る組織づくりを立ち上げようとする動きがでてきています。

町施設の分煙対策は

質問

公立校の構内全面分煙徹底について。

教育長

すでに浪江小、請戸小では1月から実施しているが、17年度からは全部の公立校が学校敷地内の全面禁煙を実施することになります。

質問

庁舎及び公設の体育館、公民館等の受動喫煙の対策は。

総務課長

町役場の1階東側に喫煙室を今回設けたところです。この先順次喫煙所の廃止をする考えです。



平成17年度の重点施策を示せ

山本 孝一こういち 議員



質問

今年度一般会計予算は70億8千万円、前年比7億2千万円、9・2%マイナス、超緊縮予算であります。国県の厳しい財政状況を勘案しながら、自然と調和した活力ある町づくりをすると行政報告の中で述べておりますが、その重点施策について問う。

町長

国県の財政状況はお質しのよう非常に緊縮財政下にあります。予算編成にあたって義務的経費は減らせない、どうしても投資的な公共事業のようなものにしわ寄せがくる

というのは当然であります。

大幅減額要因は減税補填債一括償還に伴う借り換え債がなくなったこと、浪小大規模改修事業、堆肥センター事業など終了によるものです。今年度の主な事業として、道路建設改良13路線整備、放課後児童健全育成事業、オンフール双葉補助、電源共生の健康科学プラザの用地取得、東中学校大規模改修事業、あるいは町史編纂事業などがあります。

質問

いわき・浪江相馬線の安全対策は。

建設課長

浪江相馬線と114号線が交差する小高方面からのアクセス道路については拡幅整備中であります。室原地内の歩道設置の件については富岡土木事務所・国道維持管理事務所などに強く要望しております。

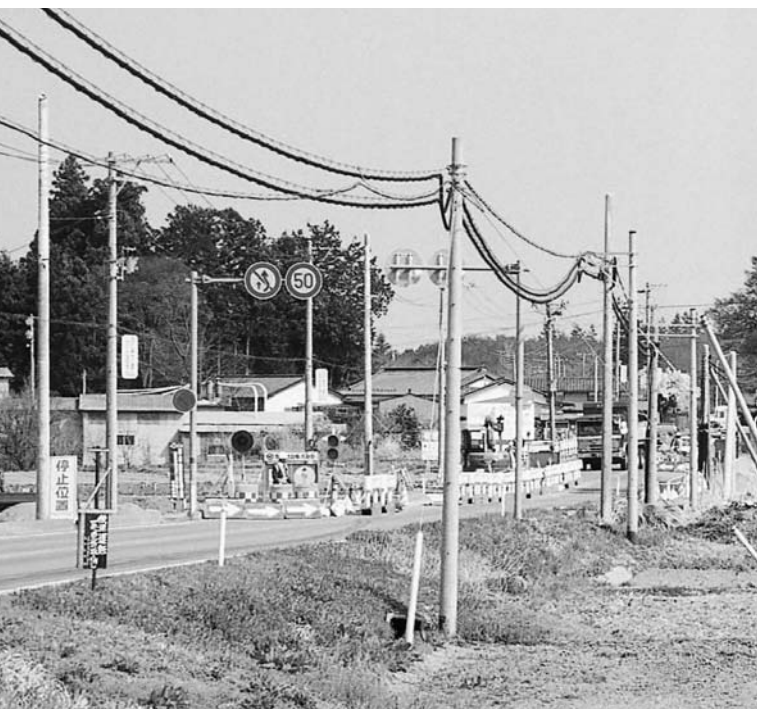
加倉江筋水路変更について

質問

農業用水路の付け替えに関する町の対応は。

建設課長

相双建設事務所が担当して地権者会などで説明会を実施しており、用地測量、道路設計を進めているところです。加倉江筋管理組合より114号を横断する暗渠の付け替え要望が出され、過日、室原区長、加倉区長、相双建設事務所



常磐道に伴う周辺整備を

所、役場建設課、産業振興課、土地改良区などで水路の付け替えの協議をしたところで、基本的には水路の高低差、位置、工法、事業費の負担など検討いたしました。なお農業用水路の整備事業なので町の産業振興課とも協議しながら国県に要望してまいります。

上下水道課長

清らかで豊富な水資源があり、請戸川、高瀬川の伏流水を上水道に利用しているが悪影響はないか。

まだ産業振興課から打診はありませんが、詳細はわかりません。

大柿ダム上流の養豚場計画について

質問

浪江町は阿武隈山系からの



農業政策について!!

田尻 良作りょうさく 議員



新長期総合計画に於ける農業の基本方針は

質問

浪江町の農業経営の問題点、課題点にどのような施策で農業改革をしていくのか、農業基本方針を伺います。

町長

現在策定中の長期総合計画の中の農業基本方針は、浪江町農業の現状を把握し農業が持続的に発展するために、3つの柱を考えています。

1つは、米価の安定を図る

ために、米需給調整の促進を図る。2つ目は、担い手農家を中心とした集落営農を目指し、担い手の育成支援を図る。3つ目は、循環型農業による

安全安心な食料生産を進めるため、堆肥センターを核とした資源循環型農業の推進を図ります。



循環型農業の核となる堆肥センター

環境保全型農業について

質問

浪江町環境保全型農業推進会議設置の目的と効用は。

産業振興課長

農業は自然生態系の機能を活用する循環型の産業です。農業の基本である土づくりの重要性を再認識し、健全な農作物を供給していくことが農業振興の上で重要であると考え、環境保全型農業の推進が目的です。生ごみの堆肥化に当たっては、生ごみの水切りの徹底、分別の徹底、コスト等の課題点があり、問題解決に調査研究を進めます。

新営農実践組合と米づくりについて

質問

旧転作組合から新営農実践組合への移行理由について伺います。

産業振興課長

従来は米の生産

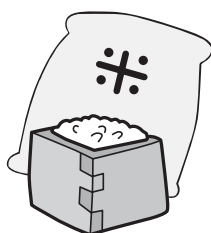
調整のために、減反を国の行政指導により行政側から協力要請してまいりましたが、平成16年度からの米政策改革に伴って、将来を見据えた営農体系を構築するため農業者の皆さんが中心となり、自主的に組織する集落営農実践組合の設立を進めています。

質問

浪江町水田農業ビジョンによると平成20年度から町による農家への生産目標数量の配分がなくなると聞いているが。

産業振興課長

平成20年度からは農業者、JA、米集荷業者の3者が中心になり、米の需要に応じた生産調整が行われます。



地球温暖化防止の具体策は

小黑 敬三けいぞう 議員



質問

地球温暖化防止の目標を達成するためには、現在の数値がわからなければなりません。町の温室効果ガスの排出量はいくらか。

住民生活課長

町行政関係の事務事業による排出量は二酸化炭素換算で1190トンですが、町全体の排出量は算定しておりません。

質問

町全体の算定方法の指導が国からあるのか。

住民生活課長

ございません。地方公共団

啓蒙を図りなさいという状況です。

質問

町全体の2012年まで6%を削減するための計画は。

住民生活課長

町の実行計画は行政機関をベースに、1190トンを目指しており、134トンを目指しており、法的には住民を包含した内容

質問

町民も含めた町独自の政策はあるのか。

住民生活課長

森林ボランティア(CO2の吸収)やリサイクルハウスの設置、ISOと抱き合わせたゴミの回収、余った食料の有機堆肥化などの施策をしております。



地球、それは奇跡とも言える自然の恵みに満ちた美しい星です。私たちが初めて地球を見たとき、誰もが青く美しい地球の姿に感動しました。その美しい地球とともに歩んでいくことは、人間が地球に誕生したときからの地球と私たちの約束です。

しかし、今地球を取り巻く環境が大きく変化しようとしています。

みんなで取り組む温暖化防止

質問

事業者と町民が責務を果たすための取組みは。

町長

役場、その関連施設における削減の姿勢を示すことによつて、全体の抑制を図っていくと考えております。また、町全体の排出量の基準も時間をかけても算出し、解決の方法を長期計画に反映させます。

いこいの村入浴料金の割引制度はどうなったのか

質問

透析患者や障害者に対するいこいの村入浴料金の割引制度について平成15年6月に一般質問しました。

これを理事会に諮ると答弁をいただきましたがその後の経過は。

町長

料金値下げの話題はありましたが、障害のある方に対しての相談はしておりません。この問題は貴重な提言と受け止めさせていただきます。

町内公園にピオトープを作る考えは

質問

新町ふれあい広場、中央公園やこれからの114号整備の計画に入れる考えは。

産業振興課長

新町ふれあい広場は面積も狭く難しいと考えております。

建設課長

中央公園については水源や管理問題など、住民合意が難しいと考えております。114号については、水資源の豊かなものをイメージするような施設を検討してはという議論がございます。

ピオトープとは、自然を模した水たまりなどで環境を整えてやれば、野鳥やトンボが自然に集まります。大きさはバケツ1つからでもでき、水は循環させなくても草などで自然浄化されるなど色々なやり方ができます。

教育環境の充実を求める



質問

- ① 小学校・中学校の不登校の現状と対応は。
- ② 30人程度学級の実施と加配教員の確保は。
- ③ 学校に専門司書を配置する考えは。
- ④ 通学路の安全と防犯灯設置は。

教育長

① 小学校は1校で4人、中学校は2校合わせて21人います。軽度発達障害による不登校と、保護者の協力が得られないなど、対処に苦慮しているところです。また、新年度より双葉郡8町村共

同で不登校児童生徒のための適応指導教室を立ち上げることにしました。

② これまでは小学校1・2年、中学校1年において実施。新年度からは町内小・中の全学年で実施されることになりました。加配教員は常勤者7名で昨年より2名増となりました。

③ 浪江小と浪江中に配置されておりますが、図書館教育に専念できる状況ではありません。今後、すべての学校に司書を配置できるように県に働きかけてまいります。

④ 側溝の整備や蓋かけ、防護柵、防犯灯の設置など、要望を踏まえ整備を進めております。

馬場

いさお
績議員

妊婦の無料健診や不妊治療費の援助、小3までの医療無料化の拡充は

質問

- ① 出産・育児・仕事の両立など少子化克服のための町の支援計画は。
- ② 児童クラブの6年生までの受入れ体制は。
- ③ 乳幼児医療無料化を小3まで引き上げる考えは。

健康福祉課長

① 経済的援助についての意見を尊重した計画策定を考慮しております。

② 4月から6年生まで受入れる準備を進めております。募集状況は町内6小学校で、合計して128名となっております。

③ 具体的な施策については保健福祉検討策定委員会の意見を尊重していきたいと考えております。

津島保育所の新築計画をすすめるべき

質問

昭和49年に建設された津島保育所は老朽化が進んでいる。

子供達の安全のためにも、1年でも早く新築計画を進めるべき。

統括保育所長

各部屋の老朽化が目立っております。今年度も天井、床など修理して使用しているのが現状です。今後建て替えも含めて検討する考えです。



老朽化が進む津島保育所

町史民族編の早期発刊を問う

佐々木茂夫しげお 議員



浪江町史編集について

質問

浪江町史は、いつ発行したままなのですか。先人が築き上げた浪江町の地域社会を後世に伝えて行く責任があります。浪江町の伝記を知る人びとが、年々少なくなり町史として残す事は大切と考えませんか。

教育長

浪江町史編纂は、これまで昭和49年10月発刊されました。今回は本編4冊の別巻2の計



発刊された自然編

6巻で、本編4冊の中身は通史1、原始、古代、中世、通史2、近世、近代、現代、そして歴史資料2巻、別巻は自然編1、民俗編1の構想であ

ります。自然編は編纂済みで、平成17年度民俗編の発刊計画をしています。今後早期に何年を発刊するか確立してまいりたいと考えます。

行政区の運営と未加入者状況について

質問

自ら地域は地域住民で運営をする行政区組織を協働参加による運営を行っている宮崎県綾町があります。行政区自体が行政区内の道路の清掃、ゴミのリサイクルを始めとする共同の、公共施設の維持管理運営を行い、地域自治内の計画は自ら順位を付け、自ら行っており、町には何をお願いするかを自ら計画をしています。浪江町では町民の皆さんから地域要望があれば、すぐ役場に要望しています。地域の施設についても維持管理計画を十分検討して進めるべきと考えます。浪江町の行政区運営は地域住民が十分話し合える組織で無ければ成りません。行政区未加入者がいれば行政区長さんは十分な機能を果たす事が困難でありますので行政区に未加入者の状況と対応について質問をさせていただきます。

総務課長

浪江町の未加入世帯の現状については請戸0世帯、幾世帯230世帯、浪江890世帯、大堀170世帯、荻野300世帯、津島0世帯程度で約1600世帯の未加入状態で、役場で転入時に行政区加入指導、不動産会社などを通じて未加入解消督促、小中学校の転入・上下水道の加入手続き等、役場に来庁された際お願いしているところです。

質問

町職員のボランティア参加の状況について

住民生活課長

町職員のボランティア参加の活動実績は把握していない状況あり、今後も地域の事業活動等に協力するよう周知してまいりたいと考えております。



5月臨時会

5月臨時会（第2回浪江町議会臨時会）は5月10日に開催されました。町議会議員改選後の初議会で議長・副議長の選挙、各常任委員会委員の選任及び3の特別委員会の設置、委員の選任並びに各委員会の委員長、副委員長の互選が行われ、新しい委員会構成が決まりました。（10～11ページ掲載）

また、町長から7つの議案が提出され、原案どおり承認・同意されました。

4件の専決処分についての報告があり承認されました。

専決処分について

4件の専決処分の報告があり承認されました。

○平成16年度浪江町一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出それぞれ1億3013万円を追加し、総額を81億4940万円としました。

○平成16年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算（4号）

歳入歳出それぞれ2701万円を追加し、総額を21億575万円としました。

○平成16年度浪江町老人保健特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ4289万円を追加し、総額を21億7190万円としました。

○浪江町税条例の一部改正について

地方税法が改正されたことに伴い、町民税の個人税所得割の定率減税の廃止、年齢65歳以上の者に係る非課税措置の廃止、給与支払い報告書の提出対象範囲の拡大などが主なものです。



人事

○監査委員の選任について
監査委員の選任について、原案どおり全会一致で同意されました。

（識見を有するもの）



森藤 紀次

住 所 浪江町大字北幾世橋字内匠町14番地

生年月日 昭和16年3月28日



松永 勝

住 所 浪江町大字井手字猿田35番地

生年月日 昭和22年10月11日

議会活動の近況

【1月】

17日 議会報編集特別委員会
19日 地域共生型電源開発特別委員会

【3月】

2日 議会運営委員会
産業建設常任委員会
双葉地方町村議会議
長会

20日 議会報編集特別委員会
24日 双葉地方町村議会議
長会
28日 双葉地方電源地域政
策協議会

8～22日
第1回浪江町定例議会
各常任委員会・議会
報編集特別委員会・
全員協議会

【2月】

4日 国道114号拡幅促
進特別委員会陳情
7日 栃木県岩舟町議会研
修のため来町

28日 広域圏組合議会運営
委員会
広域圏組合議会臨時会

【4月】

15日 広域圏組合議会保健
衛生委員会
16日 広域圏組合議会消防
厚生委員会
18日 総務常任委員会
21日 広域圏組合議会総務
委員会

11日 浪江町つしま活性化
センター開所式
17日 浪江町議会議員選挙
25日 議会報編集特別委員会

【5月】

23日 県議長会定期総会
25日 第4回広域圏組合議
会定例会

6日 議会報編集特別委員会
10日 第2回浪江町臨時会
23日 議会報編集新旧合同
委員会



シルバー人材センターで働く喜びを

牛渡字大添9-1

亀田 和行

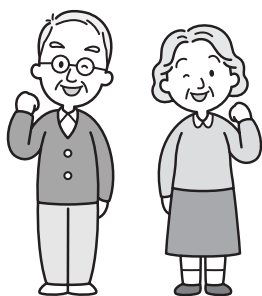


地域社会に開かれた高齢者の団体として地域住民及び地域諸団体等のご協力を得ております。現在340名の高齢者の方々がシルバー人材センター事業による多様な就業機会を通じ、その長い職業生活で培われた能力と豊かな人生経験を活かして活躍するとともに、活力ある地域社会づくりを目指して活動しています。

シルバー事業は「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」において、国及び地方公共団体の責務が明らかにされ、国が雇用を前提としない事業、すなわちシルバー事業に法的根拠と財政援助を与える事となっています。

当シルバーは浪江町・双葉町・大熊町三町のシルバーが平成12年に合併し、「北双広域シルバー人材センター」として活動しております。最高年齢者は86歳で、健康で楽しく、元気に働き喜んでいます。また、核家族となり、70歳から80歳代には、年金支給額も少なく、生活の一助にと働いている人もいます。定年後を如何に過ごすかは、各自の生活設計によりますが、シルバーで働く喜びを会員とともに味わいませんか。

家庭や事業所等で何か仕事がありましたら、シルバーに声をかけて下さい。お待ちしております。



「ゴミ」の持ち帰りを

中浜字西原11

畑中 伸江



近郊の山々も新緑一色に染まり、行楽シーズンを迎える季節となりました。季節の移り変わりとともに、趣味と娯楽をかねられ海、山、川と出かけられる機会も多くなつてまいります。

このような中で一番懸念されますことは、弁当の食べかす、空缶、ペットボトル、ナイロン袋等、放置されている状況も多く見受けられます。

地域環境整備のため、それぞれの立場でゴミ類の収集に努められておりますが、前述いたしましたように心ないひとのため、行楽地がゴミで汚されるということに対する憤りは私ばかりではないと思います。

行楽のために持参されて生じたゴミ類は、そのまま放置しないで、必ず持ち帰られるよう心がけていただき、美しいまちづくりができますようお願いしている一人であります。

編集後記

ありがとうございます

木々の緑が実に爽やかな五月。私たちが手がける「議会だより」も今号が最後になります。この2年間、勇退された佐々木茂夫委員と6名での共同作業でした。初めて取り組んだ議会アンケート、「視点・論点」反対・賛成討論の掲載など…いかに「議会のいま」を伝えるかに心を砕いてきたつもりです。毎号ご協力をいただいた「町民の声」の執筆者と事務局、読者の後押しに感謝申し上げ、バトンタッチいたします。

前議会報編集特別委員会

- 委員長 馬場 績
- 副委員長 小黒 敬三
- 委員 鈴木 辰行
- 委員 渡部 貞信
- 委員 橋爪 光雄

